多久市立病院
平成22年度の取り組みと実績
改革プラン

医療制度改正や医師不足の問題をはじめ、全国的に公立病院を取り巻く環境は厳しく、地域医療の継続が危惧されている状態です。このため、多久市立病院でも地域医療の継続と充実のため、平成21年度に「多久市立病院改革プラン」（25年度までの5カ年計画）を策定し、経営の改善、健全化に取り組んでいます。

平成22年度は地域医療の中核病院として、手術や内視鏡検査、ポリペグトミー（消化管の早期がんやポリープの内視鏡的手術）などの高度医療の提供とともに、特定健診や健康診断、さらに訪問看護等、予防と診療を一体的に提供してきました。

経営の効率化に向けては、収益の向上と経費の削減および抑制に取り組み、手術件数は前年度より31件の増、また、在宅復帰支援のための亜急性期病床導入に向けた準備を行いました。職員給与比率は前年度を下回り、委託業務では委託費を精査し、一部契約額の見直しを行い減額することができました。薬品費は新薬の採用もあり減額することができませんでしたが、診療材料費は大幅に減額することができました。

平成22年度の事業実績では、事業収益が医師不足の影響もあり13億8千1188万3千円にとどまり、事業に要した費用は経費の削減効果などで13億7千378万4千円となり、809万9千円の純利益を出すことができました。

今後も、公共の福祉の増進と、合理的経営に徹するとともに『多久市立病院改革プラン』の着実な実施により、更なる経営改善に努めていきます。

■問い合わせ
多久市立病院
☎75－2105

■平成22年度の患者数等の状況

入院患者数（年間）	入院患者数（1日）	外来患者数（年間）	外来患者数（1日）	病床利用率	救急車搬送
26,787人	73.4人	50,912人	209.5人	69.9%	189件

平成18年度
▼
平成22年度

温室効果ガス排出抑制の取り組み結果を報告します

■問い合わせ 市民生活課
生活環境係 ☎75－6117

多久市では、環境負荷の低減、温室効果ガスの排出抑制の取り組みのため、平成18年3月に『多久市地球温暖化対策実行計画』を策定し、『電気・燃料等の使用の抑制』、『公用自動車の適正な利用・管理における環境負荷の低減』、『ごみの減量化およびリサイクルの推進』、『用紙類の使用量の削減』など省エネルギー等の項目を重点に、平成18年度から平成22年度までに、平成16年度（基準年度）比で約6％削減に取り組みました。

平成22年度に市役所が行った事務事業で排出された温室効果ガス量は、5,460トンで、平成16年度より1,130トン減、17.16%の削減になりました。市の事業で排出する主なものは、清掃センターの収集ごみの焼却によるものですが、削減要因は、分別収集などにより、ごみ焼却に含まれるプラスチック製容器包装の含有率が、例年より下回ったことによります。

市民のみなさんのごみ分別への協力と、リサイクルへの意欲的な取り組みにより、目標を大きく上回る削減ができました。

今後も、ごみ分別の徹底やマイバック･マイ箸への取り組み、家庭や会社等での節電・省エネにご協力をお願いします。これからも、一人ひとりができることから実践しましょう。

温室効果ガス排出量の推移

基準年度（平成16年度）6,591トン

年度	排出量	基準年比
18年度	6,082t	△7.72%
19年度	6,408t	△2.82%
20年度	6,521t	△1.05%
21年度	5,748t	△12.79%
22年度	5,460t	△17.16%

温室効果ガスとは…
地球温暖化の原因となる気体です。二酸化炭素が代表的な温室効果ガスです。